

2010
札幌学院大学
経済学部経済学科

一人一人の学生と向き合う教育をし、
学生諸君の「期待」や「夢」の
実現を支援します。



WINMAN

SGU



経済学部の教育目標

1. 産業社会で活躍する人材を育成する
2. 日常生活を豊かにする教養を培う
3. 市民社会の形成に参加する自律した人間を育成する

カリキュラムのねらい

1. 経済学を学び、その思考方法、経済社会を分析する能力を育てます。

・「基礎科目群」で基礎的な経済学の思考方法、分析能力を身につけます。

「基礎科目群」には、①経済学の基礎理論（ミクロ経済学、マクロ経済学など）、②政府の政策に関する科目（経済政策、財政学など）、③産業や金融に関する科目（金融論、産業組織論など）、④地域経済や国際経済に関する科目（日本経済論、国際経済学など）、⑤歴史科目（日本経済史、西洋経済史など）があります。

・パソコン実習などを通して実際に統計データの分析を行い、実証的な経済分析の手法を身につけます。
具体的には、経済データ分析論や計量経済学、経済統計学などの科目があります。

2. ダイナミックに動く現代経済の諸問題に取り組み、国際的視野と地域視点を持って、社会で活躍する人材を育てます

・産業経済、政府、地域・国際経済の動きや問題をさらに詳しく学び、国際的視野と地域視点を持って現代経済の諸問題に取り組み、社会で活躍する能力を育てるために、「基礎科目群」とともに「企業・政府科目群」と「地域・国際科目群」を用意しています。

「企業・政府科目群」には、景気循環論、産業連関論、社会保障論、中小企業論、労働経済論などの科目があります。「地域・国際科目群」には、都市経済論、地方財政論、アジア経済論、発展途上国経済論、地域経済史などの科目があります。

3. 産業調査演習、インターンシップなどの科目で実践的な能力を育てます

経済を知るには自分の目で産業や企業の実際の現場を見る必要があります。産業調査演習やインターンシップ、経済学特別講義などの科目で現実の経済や企業にふれる機会をつくり、実践的な能力の形成に役立てます。



カリキュラムの特徴



経済学部ではこんなことが学べます 4つの履修モデル

企業・産業

経済政策

国際経済

地域経済

経済学部では、4つの履修モデルを考えています。この履修モデルに沿って科目を選択することにより、目的を持って学修し、さらに学修の内容を深めることができます。

- ・金融業、製造業などの企業の動きを知りたい
- ・中小企業の動向や各産業の特徴を知りたい
- ・インターンシップで実際の企業に接したい
- ・企業の戦略を理論的に学びたい
- ・将来、金融業や流通業などの仕事につきたい

- ・財政政策・金融政策・環境政策など経済政策を学びたい
- ・政府や地方自治体の財政赤字の問題を知りたい
- ・雇用政策・貧困対策などを学びたい
- ・年金や福祉などの社会保障の問題を考えたい
- ・将来公務員を目指したい

企業・産業 履修モデル

企業や産業の活動を中心に勉強します。

経済政策 履修モデル

政府の活動、政府の政策を中心に勉強します。

国際経済 履修モデル

国際経済、世界の各地域の経済を中心に勉強し、国際的な視点を養います。

地域経済 履修モデル

地域経済の動向、地域間の経済関係を中心に勉強し地域視点を養います。

- ・中国などアジア経済について学びたい。
- ・アメリカやヨーロッパの経済について学びたい
- ・世界経済の動向、各地域の相互関係を学びたい
- ・発展途上国の状況について知りたい
- ・世界のマネーの動きや為替ルートの変動について知りたい

- ・地域経済がなぜこんなに経済状況が悪いのか考えてみたい
- ・地域再生・まちづくりについて考えてみたい
- ・北海道の経済についてもっと知りたい
- ・実際に地域に行って調査してみたい
- ・まちづくりや地域に関わる仕事をしたい

各学年にゼミナールを配置した充実したゼミ教育

・経済学部ではゼミナールを各学年に配置しています。ゼミナールは、通常多数が受講する一般的な講義と異なり、少人数で行われます。そのためある分野に関する勉強を深めたり、基礎的な能力を高めたりすることができます。先生やゼミの学生の間で緊密にコミュニケーションがとれます。ゼミ合宿などもおこなわれ、人間的な交流も深められます。

社会人へ



専門ゼミナールⅢ (4年次)

専門ゼミナールⅡを発展させ、より学修を深めるとともに、卒業論文、ゼミナール論文をゼミナール教員の指導の下に作成します。

専門ゼミナールⅡ (3年次)

専門の経済書を読み、より専門的な知識と分析能力の修得をします。ゼミ生の間で議論もします。



プロゼミナール (1年次前期)

新入生のためのゼミナール、経済学への誘い、読み、書き、プレゼンテーション能力などを育てます。



専門ゼミナールⅠ (2年次後期)

ゼミのテーマに沿って勉強し、経済分析のための基礎を作ります。



ピックアップゼミナール

浅川ゼミナール 環境問題、女性労働問題を中心に

浅川ゼミは、環境問題、性差別・女性労働問題、福祉制度の危機など現代社会が抱える社会的・経済的諸問題が、現在の社会の、資本主義と呼ばれる経済的な仕組みとどのように関係しているのかを研究しています。

日本学生経済ゼミナール連合のブロック大会や全国大会に参加するなど、他大学のゼミとの交流にも力を入れています。09年度の専門ゼミナールⅡでは、琉球大学法文学部のゼミ、北海学園大学経済学部の2つのゼミの皆さんをお招きして、合同ゼミを開催しました。今後も、こうした外部との交流を積極的に進めたいと考えています。

片山ゼミナール

片山ゼミは労働経済・社会政策を専門とするゼミです。ゼミでは、賃金問題や労働時間制度、雇用・失業対策、医療や年金等の社会保険の仕組みや問題点などを勉強しています。働く人々の社会環境や労働条件をいかに良くしていくか、その場合国は何をすべきかがゼミのテーマですので、取りあげる問題もより具体的です。ゼミ生は4年生になるまでに各自関心のある問題を1つ選び、卒論につなげていきます。

鏡味ゼミナール 激動の中国経済を知る

鏡味ゼミでは中国経済、とくに中国の所得格差の現状について勉強しています。昨年度は、商学部の教員、学生とともに上海、廈門を訪問し、現地の郷鎮企業や商工クラブなどを訪問しました。

山田智哉ゼミナール(プロゼミナール)

山田プロゼミナールでは、経済の入門書をゼミ生に割り当てて、その内容および内容に関する自分の考えを発表しています。発表する場合は発表の概要をまとめた“レジюме”を作成し、スムーズに進むようにしています。他のゼミ生は、その内容に対して疑問があれば質問をして、みんなで理解を深めています。さらに並行して新聞報告も行っています。過去1週間の新聞記事の中から、いくつか記事を選んで、その内容を報告するとともに、感想を報告しています。1年生にとっては初めてのゼミ体験。発表する際には緊張してあまりうまくいかないこともありますが、終わるころには発表、質問にも慣れ、楽しく学んでいます。

専門ゼミナール2010のテーマの一部紹介

- 労働政策と規制緩和
- 日本の財政システムと今日的課題の分析
- 企業と戦略的行動
- 国際金融不安と日本と世界の景気循環
- 統計データの基礎を学ぶ
- 地域の再生について
- 東アジア共同体と日本そして中国の関係
- 食糧と環境問題
- 環境問題、性差別・女性労働問題、福祉社会論
- 多変量解析による経済統計分析

このほかに経済理論、日本経済や経済データの分析などいろいろな面から勉強できます。

その他のカリキュラムの特徴

経済学部の学びのきっかけをつくり、それを伸ばす 導入教育、基礎科目群、応用科目群

経済学の基礎とプレゼンテーション能力を育てる——プロゼミナール、経済学入門

プロゼミナールでは経済学のテキストを用いて経済学への誘いをするとともに、報告などをつうじてプレゼンテーション能力を育成します。

経済学入門A,Bでは、高校の政経と関連させて、経済学の基礎的知識と国際経済、日本経済の動きを知り、経済学の学びの基礎を教えます。経済学入門Cでは、経済学部の各教員がその専門分野を紹介し、経済学への誘いをします。

文書・論文を書く上での基礎的能力を育てる——論述作文

全学共通科目の「論述・作文」は論文の準備に必要な技術としての情報の取捨選択の方法と文書の書き方の基本を習

得します。経済学部ではこれを必修科目として重視しています。

経済学の基礎をつくり、さらに発展させる——基礎科目群、応用科目群

経済学の基礎をつくるため「基礎科目群」をおき、さらに「企業・政府科目群」、「地域・国際・科目群」で企業・産業、政府、地

域経済、国際経済の各分野について理解を深めていきます。

現実の経済の動きを知る——経済学特別講義、産業調査演習、インターンシップなど

実社会で活躍している人々の話を聴く——経済学特別講義

昨年度は「[スポーツ・文化イベントと観光の経済学]というテーマで本学教員3名を含む14名の講師の方がスポーツ、文化と経済の関係について講演して下さいました。道内のプロスポーツ・チームの運営や音楽イベント、演劇活動や自然体験学校などの実践に携わる方々から、現場で活躍する方々の

実務経験に裏打ちされたお話をお聞きしました。このほか学部講演会などもあり、道外、道内の研究者の他に行政や社会人の方に講義の中でお話いただくこともあります。

地域や産業、企業を実際に見て調べる——産業調査演習、インターンシップなど

フィールドワークやデータを分析することにより地域や産業を分析する実習を伴う講義です。今回は、「北海道新幹線の整備状況と経済効果」について調査を行いました。本年度は、美瑛町での景観などを活用した観光による町おこしを調査します。現地調査で収集した資料の分析、分析結果について議

論を行い、最後に調査報告書を作成します。この他に一部のゼミナールでは、地域調査や工場見学を行っています。またインターンシップでは、企業に出向いて就労体験をすることにより、企業について知ることができます。



ゼミでの地域調査

一人一人を重視し、その能力を伸ばす教育

TAを用いた講義など

経済数学、ミクロ経済学などの科目では毎回演習問題や小テストを出し、TA(ティーチング・アシスタント)が添削して返却する講義方法を行っています。これにより学生が自分の勉強した内容をより深く理解することができます。このほかに小

テスト、リアクションペーパーやTIESなどのeラーニングを行っている講義もあります。また携帯電話を用いた講義も今年度企画されています。

EREの課外講座

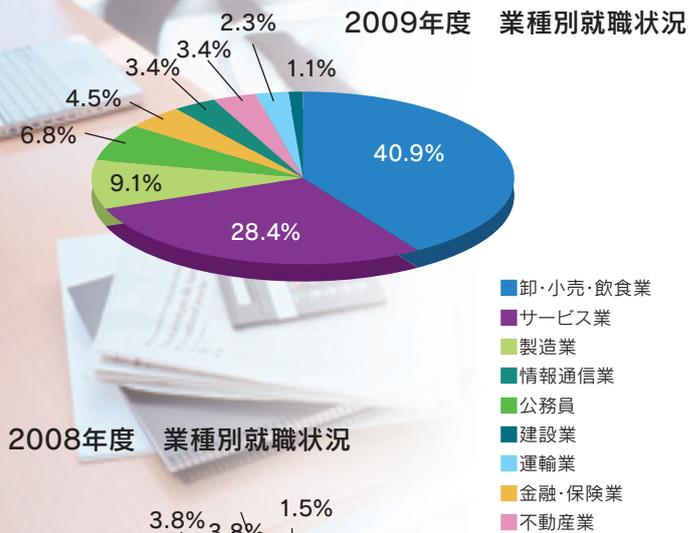
ERE(経済学検定試験)は、日本経済学教育協会が行っている経済学の検定試験です。3年前から、経済学部ではEREミクロ・マクロを受験する学生のために対策講座を開講しています。この試験の評価は、得点によりS、A+、A、B+、B、C、Dの7段階に分けられます。これまでの3回のチャレンジで延べ26

名の経済学部生がEREミクロ・マクロを受検しましたが、うち、約2/3の17名の学生がBランク以上の成績を収め、いずれの年もB+やAといった好成績をおさめる学生が出ています。

2009年度の就職状況

2009年度の就職戦線は、日本経済、北海道経済の停滞を反映して、厳しいものとなりました。その中で、札幌市に既卒・現役それぞれ1名ずつ合格するなど経済学部生の健闘も見られます。

経済学部の内定先(2010年3月末)を業種別にみると、卸売・小売業・飲食店が昨年度にひきつづき40.9%とトップでした。次いでサービス業(28.4%)、製造業(9.1%)、公務員(6.8%)、金融保険業(4.5%)、情報通信業(3.4%)の順となっています。



経済学部のこの5年間の主な就職先

<p>金融・保険業</p> <p>三菱東京UFJ銀行、北洋銀行、北海道銀行、みちのく銀行、札幌信用金庫、旭川信用金庫、帯広信用金庫、苫小牧信用金庫、釧路信用金庫、北海信用金庫、網走信用金庫、大地みらい信用金庫、室蘭信用金庫、北海道労働金庫、札幌中央信用組合、空知商工信用組合</p>
<p>卸・小売業</p> <p>イオン、スズケン、ツルハ、ホームック、ほくやく、アインファーマシーズ、サッポロドラッグストア、ヨドバシカメラ、ヤマダ電機、ベスト電器、コープさっぽろ、北海道リコー、アレフ、ムラタ、富士メガネ、北海道ゼロックス、イオン北海道</p>
<p>建設・不動産</p> <p>ミサワホーム、北海道セキスイハイム、明和地所</p>
<p>製造業</p> <p>伊藤園、佐藤水産、大和ハウス工業、中外製薬、久光製薬、日本食研、日本ケミファ、ナガワ、六花亭製菓、日本デジタル研究所</p>
<p>運輸・情報通信業</p> <p>日本通運、北海道旅客鉄道、東日本旅客鉄道、JALグランドサービス、USEN、ソフトバンクモバイル</p>
<p>サービス業</p> <p>カナモト、ホクレン農業協同組合連合会、セコム、リクルート、日本郵政株式会社、カラカミ観光、加森観光、共成レンテム、北日本広告社</p>
<p>公務員</p> <p>道内市町村職員(札幌市役所、釧路市役所、千歳市役所、深川市役所、土別市役所など)、北海道警察、他都府県警察、自衛隊</p>

就職と資格取得の支援

札幌学院大学では、キャリア支援のための仕組みがあります。

キャリア支援課による就職支援、エクステンションセンターによる資格支援などがあります。

①全学共通科目「職業と人生」

全学共通科目に「職業と人生Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」をもうけ、1年生では将来の仕事や職業をなかなかイメージできない学生のために多様な進路があることを知ってもらいます。2年生では、就職活動に備え、業界分析、企業研究や仕事の理解などのスキルを磨き、3年生では、ひとりひとりが明確な目的意識をもって学業に取り組む姿勢をはぐくみ、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や勤労観、職業観を身につけることを目指します。

②キャリア支援課による就職支援

キャリア支援課では「学部別就職ガイダンス」などの就職支援が行われます。3年生の10月からは個別面談を実施し、卒業後の進路について具体的に考えていきます。また年間を通じて、経験豊富な専門のキャリア・アドバイザーを置き、個別の就職相談やサポートを実施します。このほかキャリア支援課では2月と8月の年2回、学内で企業説明会を実施しています。昨年度は約200社の参加がありました。

③エクステンションセンター

本学では、1998年度から在学生諸君の進路・就職にあたり、その支援のためのキャリアアップを目指すことを目的にエクステンションセンターを設置しました。公務員、行政書士、宅地建物取引主任者、FP技能士、旅行業務取扱管理者、簿記、医療事務などの講座が通常の専門学校よりも低い受講料で用意されています。昨年度は、この講座を受けた学生が札幌市などに合格しています。

吉川 哲 札幌市役所勤務

平成22年3月卒業 札幌啓成高等学校卒業



私は春から札幌市役所で新社会人として働いています。札幌学院大学で学んだことは数多くありますが、みなさんにお伝えしたいことは、楽しく大学生活を送ること、何か目標を持って物事に取り組むということです。大学では自分だけでさまざまな可能性を広げられるところだと思います。私は大学3年のときに公務員を目指し、学内で開かれている公務員講座を利用しました。そして、無事に自分の目標である、札幌市役所の職員となることができました。経済学部ではゼミの活動も活発で、私は4年間すべてゼミ活動をしていました。そこでは友人もできますし、楽しい思い出もできますので是非所属してほしいと思います。

有澤 宏一 旭川信用金庫勤務

平成19年3月卒業 旭川西高等学校卒業



私にとって札幌学院大学で過ごしたキャンパスライフは、本当に楽しい時間であったと常々感じております。そんな大学を卒業して旭川信用金庫に入社以降、3年間地元旭川(東旭川支店)で勤務。そして今年、人事異動による巡り合わせで大学時以来、再び札幌の地(平岸支店)で、入社4年目の春を迎えています。毎日リクルートスーツを身にまとい、必死に就職活動していた日々を、つい最近の様に思います。大学生活での一人暮らしで両親の有り難みを感じ、社会人になってからの3年間でお給料を稼ぐことの大切さ、厳しさを学びました。

私たちのお給料は会社から貰っているものではなく、お客様から頂いているものです。

これからも常に感謝の気持ちを忘れずに、より多くの方が豊かになれるよう、地域に密着した活動を続けていきたいと思っております。私がおられる札幌学院大学から、より多くの学生が社会に出て活躍をし、ビジネスの場で出会う日を楽しみに待っています。

樋口 彩子 イオン北海道勤務

平成21年3月卒業 石狩南高等学校卒業

私は、ジャスコの紳士服売場で勤務しております。店舗での仕事は、接客販売・売場作り・商品要望・数字管理等、売場の運営全般です。小売業は、お客さまの声を一番近くで聞くことのできる職業であり、その声や時代に合わせて常に変化していかなくてはなりません。また、イオンでは、社会貢献活動に力を入れており、植樹やクリーン活動、イエローシートキャンペーン等、地域に密着したお店づくりを行っております。

地域に根ざしたお店づくりを考えるにあたり、その地域の特徴や時代背景を知ることは、重要なことです。

大学の地域経済のゼミでは、1つの街を例に、その土地が法律や時代により変化していく様子を学び、この考え方が、地域に根ざしたお店づくりを考える基本になっております。そして、4年間続けたサークル活動では、たくさんの人に出会い、みんなで一つのことをやりとげる大変さや喜びを感じることができました。今、社員として売場の中心となって仕事を進めていかなくてはならない立場であり、サークル活動はとても貴重な経験となりました。



経済学部は今年度AO入試を実施します!

1. 経済学部のアドミッションポリシー(求める学生像)

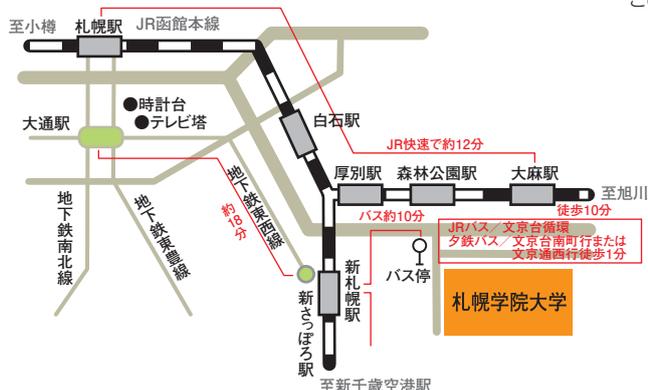
高校において公民科、地理歴史科などの学習を通し、経済学を学ぶために必要な基礎学力を持つとともに、経済に関心を持ち、大学において経済学の専門知識と分析能力を深め、社会の発展に貢献しようとする意欲を持つ方で下記のいずれかに該当する人。

- (1) さまざまな業種にわたって、ひろく産業社会で活躍することを目指す人
- (2) 幅広い教養と専門知識を求め、教養豊かな社会人を目指す人
- (3) 国際的な視野を持って、国際社会で活躍したいと考えている人
- (4) 地域的な視点を持って、地域社会で活躍したいと考えている人
- (5) 北海道の産業並びに福祉・文化の向上に貢献したいと考えている人

2. 出願資格

- (1) 高等学校を卒業した者及び2011(平成23)年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2011(平成23)年3月修了見込みの者
- (3) 通常の課程以外の課程により前項に相当する学校教育を修了した者及び2011(平成23)年3月修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2011(平成23)年3月31日までに修了見込みの者、又これらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2011(平成23)年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び2011(平成23)年3月31日までに合格見込みの者(同規則附則による廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)
- (8) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者
- (9) 高等学校等における評定平均値については、問わない。
- (10) 出願許可後は、本学の志望学科を第一志望とし、アドミッション・ポリシー(求める学生像)に沿って目的をもって学修する意思を持つ者

日程	エントリー期間	第1回面談 ・授業体験等	課題提出	第2回面接	出願許可	出願期間	選考内容	合格発表
A方式 (課題・面談型)	6月25日～7月15日	7月25日	8月27日	9月25日	10月8日	10月8日～19日	書類審査	10月29日
B方式 (ゼミナール 体験面談型)	7月21日～9月4日	9月下旬に随時 (課題指導 ・アドバイス)		9月25日 ゼミ参加	10月8日	10月8日～19日	書類審査	10月29日



タイトルのWINMANは、Wisdom, Intelligence, huMAN talentから作り上げた造語です。この三語は、大学生として身につけていただきたい能力と知識を表現したものです。

札幌学院大学までの交通機関

- J R / 札幌駅～大森駅(普通で19分、快速で12分)南口下車、徒歩10分
- 地下鉄 / 大通駅～新さっぽろ駅(約18分)バス乗り継ぎ10分
- JRバス / 新さっぽろ駅～札幌学院大学正門前(文京台循環:10分)下車、徒歩1分
新さっぽろ駅～北翔大学・札幌学院大学前(江別行、大森11丁目行:10分)下車、徒歩5分
- 夕鉄バス / 新さっぽろ駅～札幌学院大学正門前(文京台南町行:10分)下車、徒歩1分

問い合わせ先

札幌学院大学

札幌学院大学入試課 〒069-8555 北海道江別市文京台11
TEL/011-386-8111(代表) FAX/011-386-8133(入試課直通) E-mail nyusi@ims.sgu.ac.jp
札幌学院大学ホームページ <http://www.sgu.ac.jp/> 入試テレホンサービス 0120-816-555